

2013年5月24日(金)
ワークシフトプレイス VOL.5 開催レポート

【テーマ】 「問いを解決する対話を始めよう2」

【開催概要】 日時:2013年5月24日(金)19:00-21:00 会場:garden kitchen 新宿御苑



【当日流れ】

■未来志向を体験しよう！（15年前、15年後の「コミュニケーションの取り方」編）

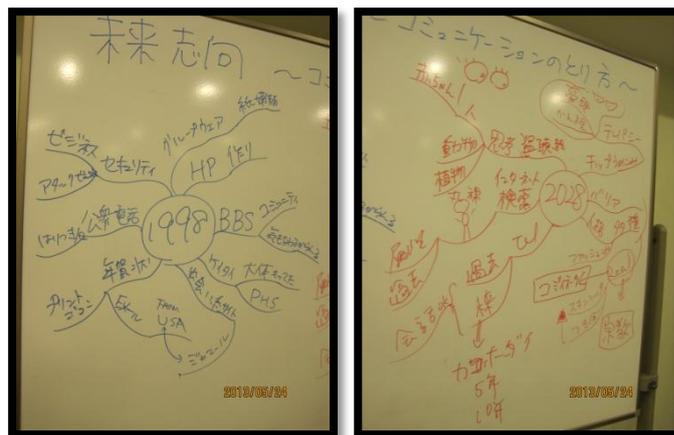
このWSPに欠かせない考え方が、未来志向でしたよね。今回はバックキャストイング(想定外の未来を想像する)を使って、2人1組で未来志向を体験して頂きました！テーマは「コミュニケーション」の取り方。ここでいくつか、出されたキーワードをご紹介します。

【15年前(1998年)のコミュニケーションの取り方】

- 年賀状作成はプリントごっこを使用。一方で、既にEmailで出していた人も！（先駆者ですね…！）
- 公衆電話が必須。（営業時、公衆電話の在りかを常に探していた。）
- BBSによるコミュニティがあった。（良く知らない人にとっては、気持ち悪い存在…。）

【15年後(2028年)のコミュニケーションの取り方】

- コミュニケーションがバーチャルから、リアルな世界へ。（リアル宗教、リアルコーディネーターetc.）
- 人や動物の“考えていること”が見えちゃう盗聴器が発明される。
- 過去と未来で通話可能に！通称、過去放題(過去に電話かけ放題)プランが生まれる。



■Dream forest

前回テーマ「いつでもどこでも働ける」は、まだ実現しておらず、私たちは時間、場所、継続性から自由になれずいます。現時点では高い理想のままです(ちょうど雲に隠れた山の頂上のようなですね。)

「Dream forest」では、テーマ「いつでもどこでも働ける」を最終到達地点(ピーク)と設定し、どのようなルートを通して

ピークに達したいか、さまざまなルートを検討してもらいました。そこで皆様には、ルートを進む前に、「どのゲート(入口)から入ってピークに到達したいか」を考えて頂き、「この入口だったらピークに行けそう！」というゲートのタイトルを掲げて頂きました。ポイントは“わくわく”できるゲートであるかどうかです！

■マグネットテーブル

「マグネットテーブル」では、対話をしたいゲートタイトルの人とくっついて頂き、3～4人のグループを作りました。マグネットテーブルのポイントは、①自分と似ている②シナジー効果が期待できる(この人のテーマとくっいたら新しい効果生まれそう！)③単純に、自分の物より魅力的！の3タイプで考えてグループをつくることです。



■マインドマップを使ってキーワードを発散させよう！

続いて、3～4人のグループで、それぞれ掲げたゲートタイトルから、ピーク「いつでもどこでも働ける」に到達するには、「何をすればいいか？」「何が足りない？」という視点で考えを膨らませ、そして、ゲートごとに共有できそうなキーワードをマインドマップ上に発散させていきました。

■Baby Step

「では、マインドマップ上に出されたキーワードを前に進めるために、何から始めよう？」というテーマでアイデア出しをしました。このアイデア出しのポイントは“Baby Step”であることです。“Baby Step”とは、「小さい一歩」、「小さな行動」という意味で、「必ずできることを設定すること。でも、設定しないと普段やらないこと」を選ぶことがミソです。

■WISHでクロージング！

最後に、ドイツ由来の WISH を行い、参加者メンバーで気持ちのシェアを行いました。本来 WISH は、命の象徴(水・緑・炎)の下で気持ちを集めて、その気持ちを実体化させる儀式的な物です。今回は水の入ったお皿と新宿御苑の葉で代用し、たくさんの“Baby Step”の中から「自分は、ここから一歩を踏み出したい」物を選び、一人ずつ気持ちを表明し、その思いを葉に託して水に浮かべて頂きました。(浮かべ終わったら周りのメンバーが「叶うよ！達成できるよ！」という意を込めて拍手で祝福！)



